

見積エース A Windows版

Ver. 6で追加された機能

1. 材料ガイドの品種ツリー表示

- 品種名称のリストから、登録材料を絞り込んでガイド表示します。

The screenshot shows the 'Material Guide' window with a tree view on the left and a detailed list on the right. The tree view shows categories like '1 電線管・付属品' and '201 電線管・付属品(全角)'. The detailed list shows columns for 'コード', '品番', '品名', '単位', and '単価'.

コード	品番	品名	単位	単価
1009	GP-16	電線管 GP-16	m	230
1010	GP-22	電線管 GP-22	m	292
1011	GP-28	電線管 GP-28	m	396
1012	GP-36	電線管 GP-36	m	511
1013	GP-42	電線管 GP-42	m	590
1014	GP-54	電線管 GP-54	m	858
1015	GP-70	電線管 GP-70	m	1232
1016	GP-82	電線管 GP-82	m	1495
1017	GP-92	電線管 GP-92	m	2691
1018	GP-104	電線管 GP-104	m	3033
1024	GP 16	ノーマルバンド GP 16	本	185

↑ 品種コード表

従来の材料ガイド表示、「分類 (1 ~ 90)」→「分類内の登録材料 (1001 ~ 1999)」の表示方法に加えて、新たに「品種コード表 (100-9900)」→「指定した品種の材料」の階層表示が可能になりました。

登録されている分類に関係なく材料を表示できるので、1 品名マスター内の複数の分類に同一材料を登録してある場合等に便利な表示機能です。

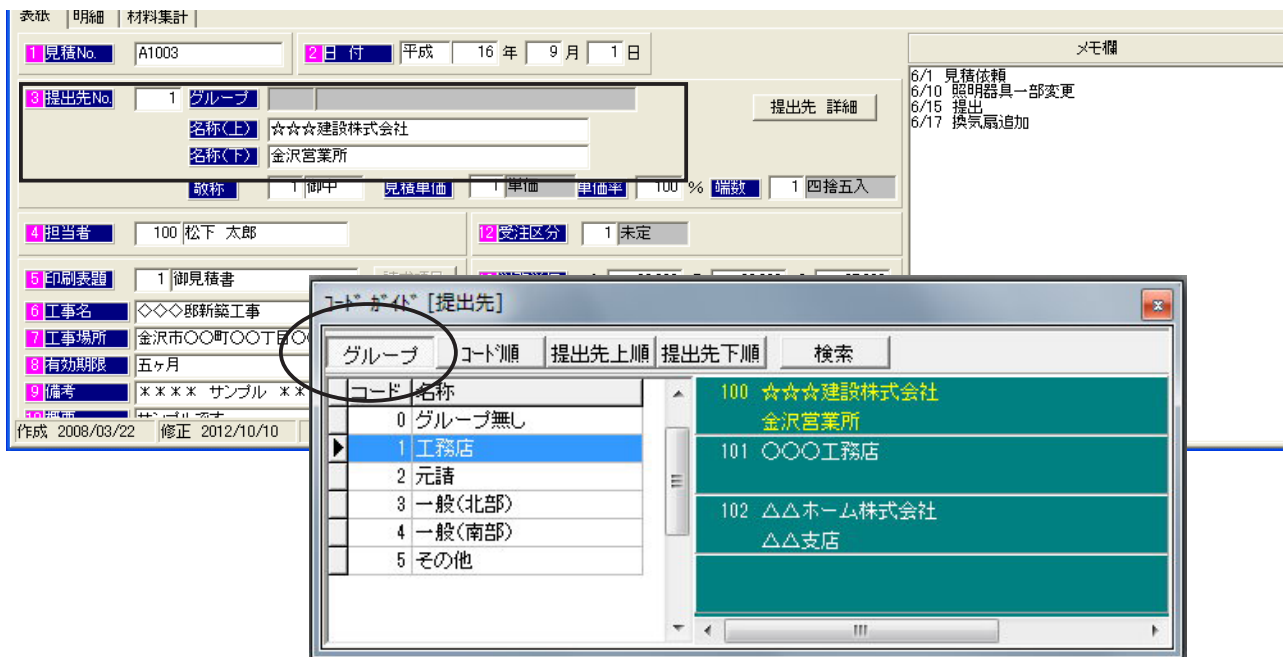
「品種コード」は、使用する品名マスターすべてに共通な材料の分類コードで、見積エースの「品種登録」画面で設定されています。

品名マスターに登録されている材料には、一材料ごとに「品種コード」が設定されています。

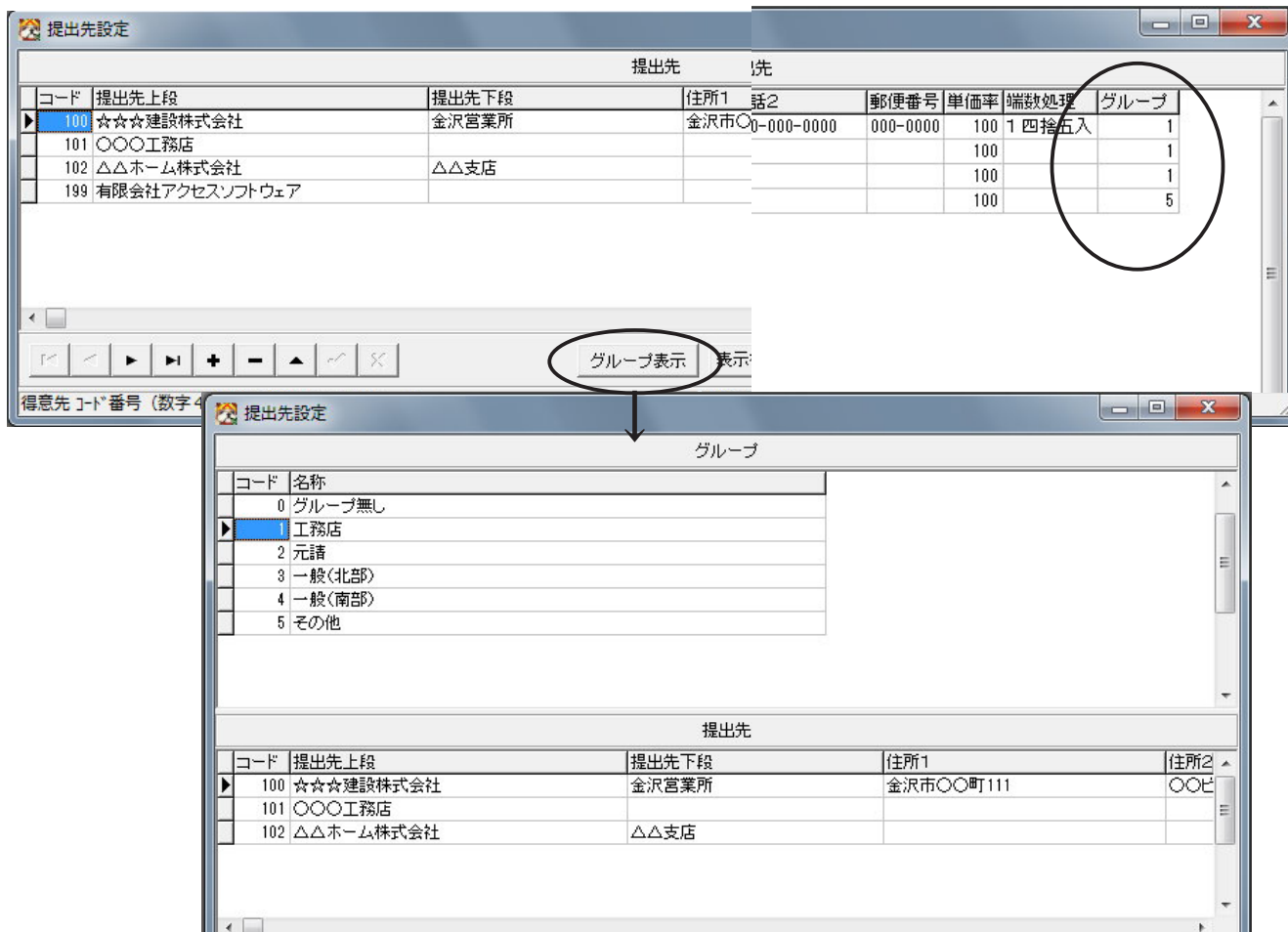
(登録されている材料に品種コードが入力されていないときは、その「分類 1-90」に設定されている品種コードが適応されます。

2. 提出先一覧のグループ表示

- 提出先をグループ別け機能が追加され、コードガイドで提出先をグループ毎に表示します。



- 提出先登録画面でグループの設定を行い、グループ別の登録も可能になりました。



3. 見積明細に「備考2」の入力項目追加

- 備考1：従来の備考欄（日本語入力全角15文字）
備考2：主に図面上の材料記号等を入力する欄（半角英数入力 30文字）

明細ヘッダ:1 レイアウト:3

品番	品名	備考	備考2	発注
100	LB57819	松下電工	b-1	101
100	LT86979	東芝	c-2	101
100	HFA7324	大光	b-2	101
100	LB12665	松下電工	c-3	101
100	HFA6773	未定	e-2	101

「備考2」は、見積書の印刷レイアウトで任意の項目として明細列に追加できます。

「備考2」を図面記号欄に使用した見積明細の印刷例

内訳明細							P. 4
図面記号	品名及び仕様	数量	単位	単価	金額	備考	
b-1	シャンデリア	2	台	74,000	148,000	松下電工	
c-2	ブラケット	5	台	12,000	60,000	東芝	
b-2	シーリングライト	3	台	56,000	168,000	大光	
c-3	ペンダダント	3	台	28,000	84,000	松下電工	
e-2	和風照明	5	台	51,000	255,000	未定	

<< 従来の明細「備考」欄との違い >>

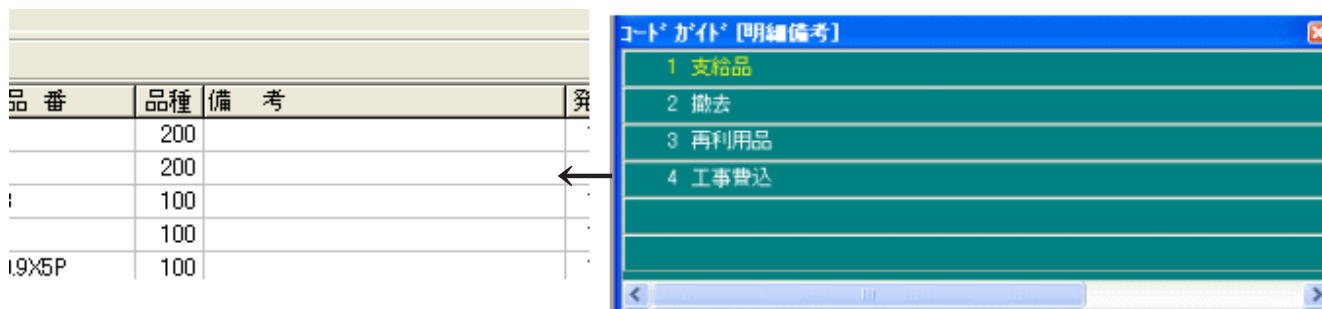
従来の「備考」は、画面の入力モード（初期状態）が「全角」になっていますが、「備考2」の入力では「半角」モードがデフォルトになっています。

（全角文字も入力可能です）

従来の「備考」には、Ver. 6より備考マスターが搭載されて、あらかじめよく使う備考を設定しておけますが、「備考2」にはマスターはありません。

4. 明細備考マスターの追加

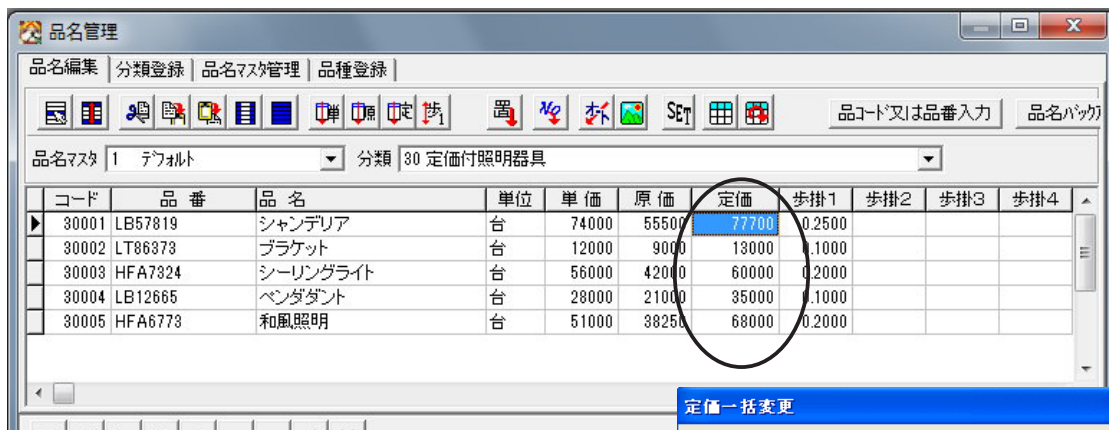
- 見積書の明細行の備考欄に入力する文字をマスター登録可能。
備考入力時にコードガイドから選択できます。



明細備考マスターはメニューの<マスター登録>—<明細備考>より登録できます。
表紙の備考マスターとは区別しております。

5. 「定価」の追加

①品名マスタに「定価」を追加

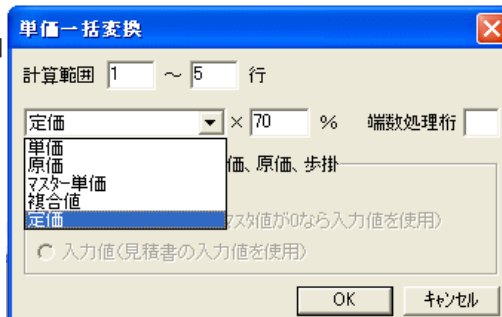
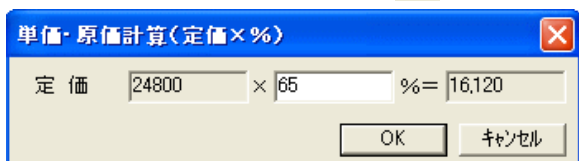


- << 品名編集画面の「定価」計算処理を追加 >>
- ・範囲計算処理に「定価」を追加
 - ・単価・原価の一括変更時に「定価」×%を追加
 - ・マスタ複写時に、「定価」を複写するかのチェックを追加

②見積明細行に「定価」入力欄を追加

行	コード	名称	見積数	原価数	単位	単価	原価	金額	原価金額	定価	定価金額
1	21106	スピーカ 壁掛形 3W 樹脂製 アッテナー付	3	3	個	3,570	3,570	10,710	10,710	15,300	45,900
2	21111	3W 丸 埋込・樹脂製 樹脂 アッテナー付	3	3	個	5,910	5,910	17,730	17,730	24,800	74,400
3	21128	卓上アンプ 120W	1	1	台	73,500	73,500	73,500	73,500	105,000	105,000
4	21136	マイクセット 卓上用	2	2	個	4,300	4,300	8,600	8,600	12,300	24,600
5	21139	マイクセット 床付き	4	4	個	13,300	13,300	53,200	53,200	76,000	304,000

- ・定価欄の追加に伴い、「定価金額」(定価×見積数)を追加
- ・単価・原価一括処理に「定価」×何%を追加
- ・単価・原価処理に「定価」を追加



③見積書表紙に明細で使用する見積単価選択に「定価」を追加



見積単価 (見積明細で品名マスターより呼び出した材料の単価)

1. 「単価」、2. 「原価」、3. 「定価」を選択
 材料呼び出し時の見積単価 = 定価 × 単価率
 の設定が追加。

④計算式に「定価」の追加

・自動計算式と複合単価式に「定価」を使用できるように、定価記号を追加しました。

品種	品番	名称	範囲	開始品種	終了品種	開始品番1	終了品番1	計算式記号
200	1900	電線管の35%	1 コード	200	399	1001	9999	A マスター単価
400	3006	材料費の20%	1 コード	200	200	3003	9999	B マスター原価
9900	24700	材料費の6%	2 材料	0	0	0	9999	V マスター定価
9900	24701	全体の4%	1 コード	100	9999	1001	9999	C マスター歩掛り

⑤材料集計表に「定価」・「定価金額」の追加

新築工事								合計	
粗利益	利益率(%)	工数	マスタ単価	マスタ原価	品番	外部コード1	外部コード2	定価	定価金額
37,000	25.0	0.5000	0	0	LB57819			77,700	155,400
15,000	25.0	0.5000	0	0	LT86373			13,000	65,000
42,000	25.0	0.6000	0	0	HFA7324			60,000	180,000
21,000	25.0	0.3000	0	0	LB12665			35,000	105,000
63,750	25.0	1.0000	0	0	HFA6773			68,000	340,000
178,750	25.0	2.9000							845,400

ただし、定価は集計対象（同一材利用判定）の項目ではありません

材料集計表では従来通り、品名コード・品種コード・見積単価・原価により、同一材料かどうかを判断し、数量を合算します。

同じコード・単価の材料であれば、仮に定価が違っていても、又は定価が入力されてなくても、同一材料として数量を集計します。

⑥すべての印刷に、定価、定価金額を追加可能

品名及び仕様	数量	単位	単価	金額	備考	参考定価
シャンデリア	2	台	74,000	148,000	77,700	¥155,400
ブラケット	5	台	12,000	60,000	13,000	¥65,000
シーリングライト	3	台	56,000	168,000	60,000	¥180,000
ペンダダント	3	台	28,000	84,000	35,000	¥105,000
和風照明	5	台	51,000	255,000	68,000	¥340,000
品名及び仕様	定価	数量	単位	単価	金額	備考
シャンデリア	77,700	2	台	74,000	148,000	
ブラケット	13,000	5	台	12,000	60,000	
シーリングライト	60,000	3	台	56,000	168,000	
ペンダダント	35,000	3	台	28,000	84,000	
和風照明	68,000	5	台	51,000	255,000	

見積書以外に、原価明細書・材料集計表・品名マスター一覧表にて、レポートエディタで「定価欄」・「定価金額」の配置が可能になりました。

「定価」・「定価金額」は、あくまでも見積書に参考定価を表記するだけの目的で追加されたもので、見積書の合計金額に加算されるような仕様ではございません。

6. 明細入力項目設定の複数登録が可能

- 見積書明細の表示項目設定のレイアウトを最大 8 パターン設定が可能になり、見積書によって使い分けが可能。従来の「見積書」・「請求書」のレイアウトに加え、複合単価見積用のレイアウトとユーザパターン 5 種類を追加可能。
作成する見積書によって、今回は明細に「定価を入れたい」・「図面記号を入力したい」・「発注先や画像を入れたい」等、入力項目や順番を複数登録しておき、簡単に切り替えることが可能になりました。

複合単価見積用のレイアウト使用時には、材料の元単価や歩掛等を編集して複合単価を再計算させることが可能です。

<< 設定・使用例 >>

1) 標準入力レイアウト

表紙		明細	材料集計								行 17	項目計 見	56
行	コード	名称	見積数	原価数	単位	単価	原価	金額	原価金額	歩掛	品番		
2		電灯コンセント設備工事	明細ヘッダ:自動										
1	1159	電線管 EP-19	30	30	m	122	122	3,660	3,660	0.0420	EP-19		
2	1160	電線管 EP-25	30	30	m	171	171	5,130	5,130	0.0560	EP-25		
3	1600	同上付属品	1	1	式	3,077	3,077	3,077	3,077				

2) 請求書用レイアウト (日付入力欄追加)

表紙		明細	材料集計								行 23	合計 見	984,000
行	コード	日付	名称	見積数	単位	単価	原価	金額	原価金額	歩掛	品番		
0	○○○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1	4000	2012/10/02	電線管 CP-25	35	m	189	145	6,615	5,075	0.0800	CP25		
2	4000		電線管 CP-39	15	m	299	230	4,485	3,450	0.1100	CP39		
3	4012	2015/10/02	電線管 EP-19	40	m	118	90.6	4,720	3,624	0.0500	EP19		

3) 複合単価入力用レイアウト (マスター単価・各「率」等入力・修正可能)

表紙		明細	材料集計								行		
行	コード	名称	見積数	単位	単価	金額	マスター単価	率1	率2	補給率	歩掛	歩掛名称	品種
6		電力引込工事	明細ヘッダ:自動										
1	1094	電線管 CP-25	35	m	1,847	64,645	193	5	25	0.1	0.0700	隠ぺいコンクリート打	201 CP-25
2	1096	電線管 CP-39	15	m	2,852	42,780	202	5	25	0.05	0.1090	隠ぺいコンクリート打	201 CP-39
3	1159	電線管 EP-19	40	m	1,117	44,680	122	5	25	0.1	0.0420	隠ぺいコンクリート打	201 EP-19

複合単価入力状態でこのレイアウトを使用すると、入力済みの行の「マスター単価」・率等を修正すると自動で見積単価 (複合単価) を計算しなおすことができます。

さらに、明細項目をすべて表示・修正が可能な「明細プロパティ」画面を表示させて、使用する歩掛の種類や値を変更して複合単価を再計算したりと、より詳細な複合単価修正・再計算も可能です。

4) 備考 2 入力用レイアウト (「備考 2」入力欄を図面記号等で使用するためのレイアウト)

表紙		明細	備考2	「図面記号」入力	材料集計								行 5	項目計 見	715,000
行	コード	備考2	名称	見積数	原価数	単位	単価	原価	金額	原価金額	歩掛	品番			
5			照明器具	明細ヘッダ:1 レイアウト:3											
1	13601	b-1	シャンデリア	2	2	台	74,000	55,500	148,000	111,000	0.2500	LB57819			
2	13602	c-2	ブラケット	5	5	台	12,000	9,000	60,000	45,000	0.1000	LT86373			
3	13603	b-2	シーリングライト	3	3	台	56,000	42,000	168,000	126,000	0.2000	HFA7324			

5) 「参考定価」入力用レイアウト

表紙		明細	「定価」入力パターン	材料集計								行 5	項目計 見	715,000	原	5
行	コード	名称	定価	見積数	原価数	単位	単価	原価	金額	原価金額	定価金額					
5			照明器具	明細ヘッダ:1 レイアウト:3												
1	13601	シャンデリア	77,700	2	2	台	74,000	55,500	148,000	111,000	155,400					
2	13602	ブラケット	13,000	5	5	台	12,000	9,000	60,000	45,000	65,000					
3	13603	シーリングライト	60,000	3	3	台	56,000	42,000	168,000	126,000	180,000					

最大 8 パターンの設定が可能で、それぞれのレイアウトは自社に合わせて自由に設計できます。

ただし、複合単価用のパターンと請求明細用の専用パターンは、それぞれ 1 パターンのみ設定可能で、残り 6 パターンが汎用のパターンになります。

各パターンは初期設定画面で設定・編集可能です。

見積書入力中に、自由にレイアウトパターンを切り替えることができます。

従来通り、画面上で入力順の並び替えや入力幅の調整、入力項目の追加・削除も可能です。

7. 明細プロパティを搭載

○すべての値を1画面で表示します

1行の見積明細には、品名コード・名称・品種コード・見積数・原価数・見積単価・見積原価・品番・・・等の非常に多くのアイテム情報があり、それらすべてを1行のレイアウトで表示するのは非常に困難です。それら、明細一行のすべての情報を表示する為の、明細プロパティ画面を搭載しました。

明細プロパティ画面では、すべての入力項目を修正することが可能です。

○品名マスターの値も修正可能です

品名マスターから呼び出したときの、マスター値（マスター単価・原価・マスター歩掛1～5・雑材率・補給率）等も表示され、マスター値の修正も可能です。

さらに修正されたマスター値を使用中の品名マスターに上書き修正しておくことも可能です。

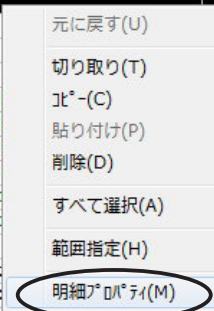
○複合単価入力モードではプロパティ画面から複合単価の再計算が可能です


複合単価の入力モードでこの明細プロパティ画面を表示させ、マスター値を入力・修正することで、見積単価（複合単価）を再計算させることが可能です。

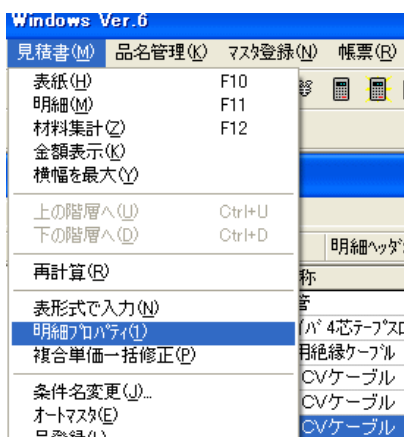
また、この画面を使用すれば、マスターに登録されていない材料でも、直接プロパティ画面で、マスター単価（材料単価）・雑材率・補給率・歩掛等を入力することで、その場で複合単価を算出することができます。

表示したい明細行で、マウスの右クリックメニューから明細プロパティを選択して表示します。

行	コード	名称	見積数	原価数	単
1	1094	電線管 CP-25	35	35	n
2	1096	電線管 CP-39	15	15	n
3	1159	電線管 EP-19	40	40	n
4	1108	ノーマルバンド CP 39	5	5	オ
5	8014	電線 IV 8mm2×1	70	70	n
6	8015	電線 IV 14mm2×1	50	50	n
7	8021	電線 IV 22mm2×1	55	55	n
8	8022	電線 IV 38mm2×1	40	40	n
9	8023	電線 IV 60mm2×1	25	25	n
10	6357	プルボックス 300×300×	1	1	fl
11	6359	プルボックス 300×300×	2	2	fl
12	13900	分電盤 _L-	1	1	正
13	13280	分電盤 _L-	1	1	正
14	13281	分電盤 _L-	1	1	正



ツールバーから  ボタンをクリックするかメニューより選択して表示させることもできます。



プロパティ画面で表示されているマスター値（マスター単価・原価・マスター歩掛1-5）等は、明細入力時に品名マスターから呼び出した時点の値です。

明細入力後に、品名マスターの値を直接品名編集画面で修正しても、すでに入力済みの見積書の明細内部のマスター値は変わりません。

例えば、古い見積書を読み出して、最新のマスター値に更新するには、その明細の品名コードを再入力して品名マスターから呼び出しし直す必要があります。

8. 材料集計画面で「原価」変更可能

- 材料集計画面の材料単価の変更で、従来の「単価」に加えて、「原価」の変更も可能になりました。

コード	名称	見積数	原価数	単位	単価	金額	原価	原価金額	粗利益	利益率(%)	工数	マ材単価	マ材
1000	盤類												
13280	分電盤 _L-2	1	1	面	45,000	45,000	40,000	40,000	5,000	11.1	0.1000		0
13281	分電盤 _L-3	1	1	面	150,000	150,000							0
13900	分電盤 _L-1	1	1	面	25,000	25,000							0
13999	雑材・消耗品	1	1	式	45,918	45,918							0
	品 種 小 計												
1100	照明器具												
13601	シャンデリア	2	2	台	74,000	148,000							0
13602	ブラケット	5	5	台	12,000	60,000							0
13603	シーリングライト	3	3	台	86,000	258,000							0
13604	ペンダント	3	3	台	28,000	84,000							0
13605	和風照明	5	5	台	51,000	255,000	38,250	191,250	63,750	25.0	1.0000		0

従来の「単価」の変更と同様に、見積書の明細に同じ材料が複数行入力されている場合の、原価一括変更に便利です。

- 材料集計画面の表示・印刷項目の追加
明細に新たに追加された「定価」・「定価金額」の表示と、外部コード（外部マスター入力時のコード）の表示が追加されました。

9. 工事項目数を999まで追加可能

- 従来、工事項目は1～199まででしたが、Ver.6より1～999まで使用可能になりました。
階層に関しては、従来通り制限はありません。

10. 工事項目 内訳明細の印刷設定が可能

- 特定の工事項目の明細を印刷しない指定が可能になりました。

印刷しない場合は、ツリー表示のアイコンが変わります。

- ※ 内訳明細の印刷指定は「見積書」「請求書」のみ設定が可能です。
原価明細書の印刷時には、全ての明細が印刷されます。

11. 明細入力方法の優先ボタンを表紙に追加

明細入力する際に、工事項目の見積書を作成するのか、品名入力するのかを、表紙で事前に決めることができます。

デフォルト設定は、初期設定にて登録します。

- 「項目優先」の見積書の場合、明細第一画面のコード入力時のメッセージは、

項目番号 (1~999) 入力 ※重複不可/品名入力...HOMEキー又はF 8 /材料ガイド... F 1 [登録: ↑↓] [キャンセル]

この状態で、コードに「1」と入力すると、工事項目1番の行になります。

工事項目別に明細を分けるような見積書に適しています。

- 「品名優先」の見積書の場合、明細第一画面のコード入力時のメッセージは、

品名コード番号又は品名入力/項目入力...HOMEキー又はF 8 /材料ガイド... F 1 [登録: ↑↓] [キャンセル]

この状態で、コードに「1」と入力すると、材料ガイドの1番目分類が表示されます。

明細を分けずに、1枚目から直接材料を記入するような見積書に適しています。

12. 自動でコード入力が可能

- 明細入力で、コード入力を省略した時に、自動でコードが入力されるように設定が可能。入力されるコード（品名コード・品種コード）は、初期設定で設定（省略できるコードは材料のみで、工事項目のコードは省略できません）

13. マイナス明細行の色を変えて印刷可能

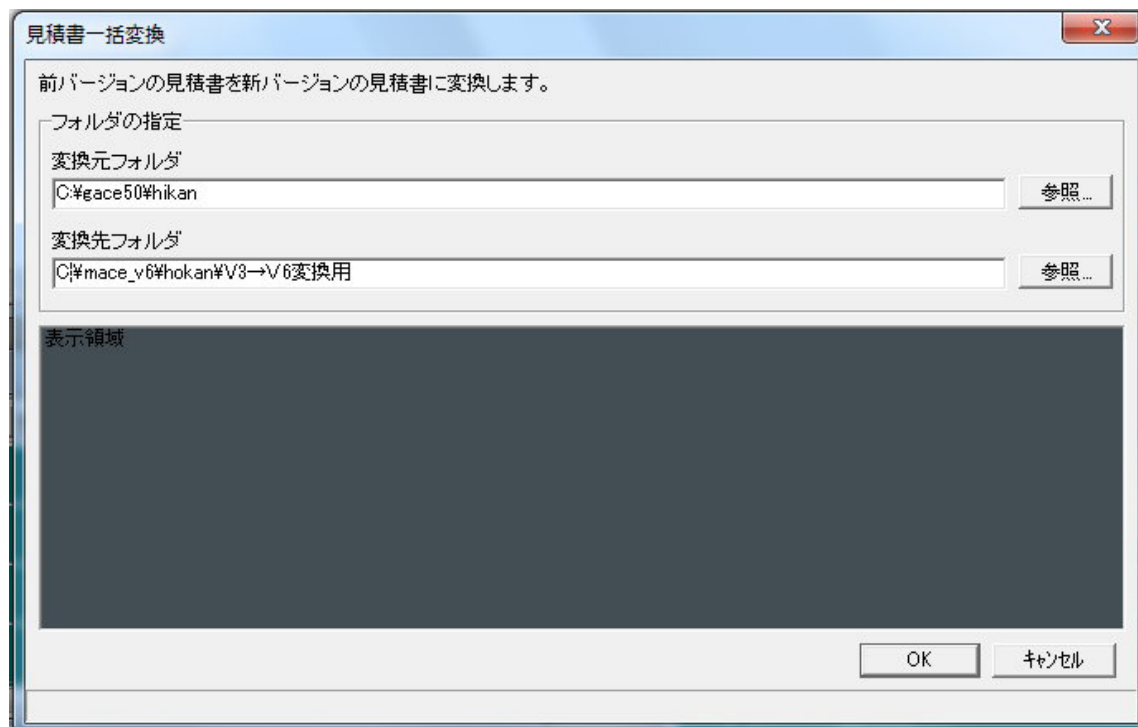
- 印刷設定画面で、値引きの行等のマイナス明細行の色を変えて印刷できます。

「行全体」に設定したときには、「値引き」等の名称欄の文字も赤色印字になります。印刷にはカラープリンターが必要です。

14. 旧バージョン見積書ファイルの一括変換

旧バージョンの見積エースで作成された見積書ファイルを一括してVer 6のファイルに変換出来ます。

一括変換は、旧バージョンの見積書が保存されているフォルダ単位で行うことができます。



コンバート後の見積書を保存する「変換先フォルダ」は新規フォルダをあらかじめ用意しておく必要があります。

一括変換は、フォルダ単位に行います。指定したフォルダの中にサブフォルダが存在する場合、サブフォルダの中の見積書は変換されません。

この機能は、ネットワーク上フォルダには対応していません。

変換可能ファイルは、見積エース Windows 版 Ver.1 ~ Ver.5 / 見積エース DOS/V 版です。

15. 複合単価・自動計算式の端数処理設定追加

計算式で計算された単価の端数処理を従来の桁のみによる丸め処理だけでなく、計算された単価の桁数に合わせて端数桁を設定できるように機能を追加しました。

端数処理の設定は初期設定画面で登録しておき、計算式ごとに端数処理設定を適応するかどうか指定できます。

金額設定、複合、計算式の単価端数処理	
単価の値	単価の位
1~99	初期設定
100~999	整数
1,000~9,999	10
10,000~99,999	100
100,000~999,999	1,000
1,000,000~	10,000
初期設定に戻す	

左記の設定では、計算結果は下記の様に処理されます。

15.72 → 16 または 15.7
 (初期設定の単価小数点桁設定によって変わる)
 125.3 → 125
 1255 → 1260
 13275 → 13300
 523259 → 523000
 1234567 → 1230000
 (四捨五入・切り捨て・切り上げは処理は単価の端数処理設定)

16. 品名欄3分割印刷可能

見積明細の「品名」欄の文字を「_」（アンダースコア）で区切って、最大3分割まで可能になりました。

従来のバージョンでは、「_」での分割印刷は「品名1」・「品名2」の2か所に分けての印刷でしたが、Ver.6では、さらに、「_」を2か所に入力することで、「品名1」・「品名2」・「品名3」の3分割レイアウトが可能になりました。

これにより、品名欄の文字を、「名称」・「仕様」・「規格」等の3項目に分けて印刷できます。

<< 画面の入力例と、設計例・印刷例 >>

行	コード	名称	見積数
1	1094	電線管_CP-25_隠ぺい	35
2	1096	電線管_CP-39_隠ぺい	15
3	1159	電線管_EP-19_サドル止め	
4	1108	ノーマルバンド_CP 39	
5	1600	同上付属品	
6	8014	電線_IV 8mm2_1本	
7	8015	電線_IV 14mm2_1本	
8	8021	電線_IV 22mm2_1本	
9	8022	電線_IV 38mm2_1本	
10	8023	電線_IV 60mm2_1本	
11	6357	プルボックス_300×300×150_鋼板製	
12	6359	プルボックス_300×300×300_鋼板製	
13	13900	分電盤_L-1_特注品	
14	13900	分電盤_L-2_既製品	

内訳明細

電力引込工事

名称	仕様	規格	数量	単位
電線管	CP-25	隠ぺい	35	m
電線管	CP-39	隠ぺい	15	m
電線管	EP-19	サドル止め	40	m
ノーマルバンド	CP 39		5	本
同上付属品			1	式
電線	IV 8mm2		70	m
電線	IV 14mm2		50	m
電線	IV 22mm2		55	m
電線	IV 38mm2		40	m
電線	IV 60mm2		25	m
プルボックス	300×300×150	鋼板製	1	個
プルボックス	300×300×300	鋼板製	2	個
分電盤	L-1	特注品	1	面
分電盤	L-2	既製品	1	面
分電盤	L-3	特注品	1	面

レポート設計例↓

印刷衣冠

工 事 項 目 名						
Page Header	名 称	品名2欄	品名3欄	数量欄	単欄	単価欄
Column Header	品 名	品 名 2	品 名 3	999,999	単価	9,999,999,999

明細の品名欄に「_」を2個使用した場合でも、「品名3」が配置されていないレイアウトのレポートを使って印刷可能です。

「品名3」が無いレポートを使った時には、「品名1」と「品名2」に分かれて印刷されます。
 「品名2」が無いレポートを使って印刷したときには、すべて「品名」に印刷されます。

明細上のヘッダの文字（「仕 様」・「規 格」等）も、「明細印刷ヘッダ」の登録で自由に設定できます。

17. その他の追加機能

1) 自社名マスタに「メールアドレス」と「URL」欄を追加

「メールアドレス」と「URL」は、見積書のレイアウトに追加、印刷可能です。

2) 初期設定にデフォルトの自社名マスタを設定可能

新規で見積書を作成したときに、初期設定で設定してある自社名パターンが自動で設定されます。

3) 品名マスタのテキスト入力で、品名コードを追加

品名マスターのテキスト入力時に、品名コード (1001-90999) も入力可能になりました。

これにより、品名テキストにあらかじめコードを埋め込むことで、指定した品名コードに入力可能になりました。

4) 明細の「再計算」処理に複合単価の再計算を追加

「再計算」処理に、複合単価を再計算するかどうかの設定が可能になりました。

例えば、複合単価の計算で使用している労務単価を変更し、入力した明細の複合単価をすべて一度に計算しなおす時に便利です。

(旧バージョンの範囲処理による複合単の再価計算も使用できます。)

5) 見積書印刷で利用できる明細項目を追加

新たに追加された明細アイテム「定価」・「備考 2」に加えて、下記のアイテムも明細に追加・印刷可能になりました。

1. 「歩掛名称」(施工方法等)

明細入力時に選択した歩掛の名称で、「管内配線」・「ケーブルラック配線」・「隠ぺい」・「露出」等の施工方法等文字の設定は「品種登録」画面で行いますが、明細画面上でも自由に入力・修正できます。

見積書の明細の印刷レイアウトに追加可能になりました。

2. 「外部コード 1」(建設物価材料コード)

品名マスターの材料に登録できる建設物価単価マスターのコードで、建設物価の単価マスターを読み込み時(単価の更新時)に使用しています。

「外部コード 1」は明細画面上でも自由に入力できるようになり、任意の明細アイテムとして印刷可能になりました。

3. 「外部コード 2」(経済調査会材料コード)

2と同様に、「外部コード 2」も明細入力時に使用でき、見積明細の印刷アイテムとして追加されました。

4. 「URL 欄」(材料機器の規格・仕様書を掲載しているメーカー等の Web サイトの URL)

品名マスターの材料毎に記入できる URL 入力欄ですが、見積明細画面で入力・修正が可能で、見積書の印刷レイアウトにも追加可能になりました。

■開発元 有限会社アクセスソフトウェア
サポートセンター
TEL (076) 291-9040 FAX (076) 291-9098
URL <http://www.access-soft.co.jp/>
<http://www.access-soft.net/>